

## 電子入札システム新方式(脱 Java 方式)の パソコン設定について

電子入札クライアント PC で使用する Java のサポートが令和 2 年 9 月 3 0 日をもって終了になることをうけ、電子入札システムは新方式(脱 Java 方式)に切り替えをします。

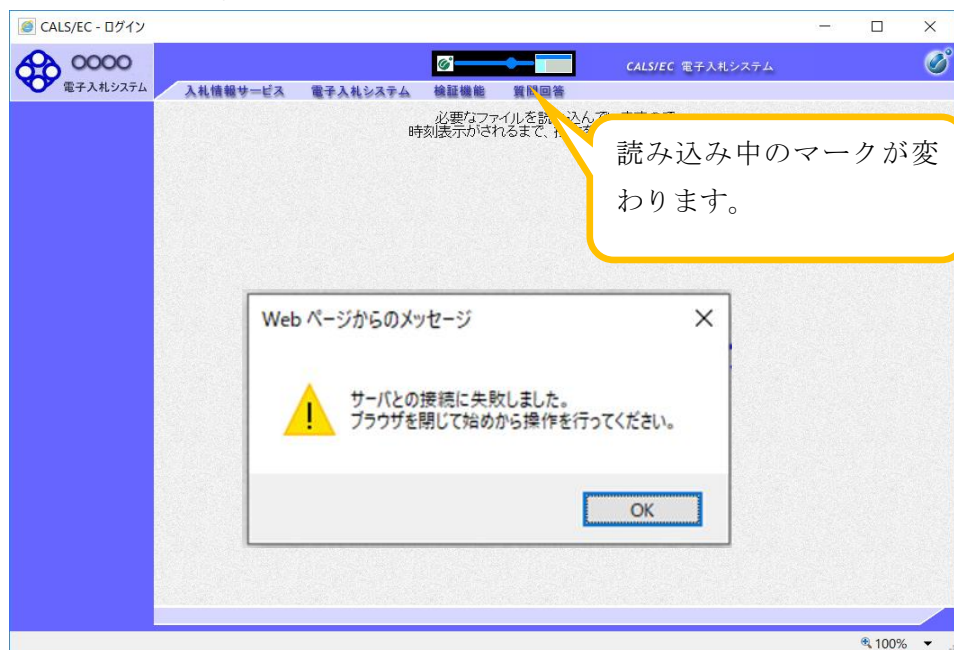
(Java のサポートに関する詳細は下記 JACIC のホームページをご参照ください。

[http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/data/20191122\\_oshirase.html](http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/data/20191122_oshirase.html) )

新方式(脱 Java 方式)は、現在ご利用の電子入札システムの URL とは別の URL になります。そのため、ご利用のパソコンにおきましては、**新方式(脱 Java 方式)を利用するためのパソコン設定**を行う必要があります。設定を行わない場合、下記参考画面のようなエラーが表示されて電子入札システムにログインできません。

新方式(脱 Java 方式)の利用開始日である**令和 2 年 7 月 2 7 日(月)まで**に次ページ以降の**新方式(脱 Java 方式)の設定方法 項番 1～3**を参照の上、設定をお願いします。

(参考) 新方式(脱 Java 方式)の設定を行わない場合に表示されるエラー画面



※新方式(脱 Java 方式)への入口は、ホームページへの掲載をお待ちください。

※新方式(脱 Java 方式)の設定をした後でも、現在ご利用の電子入札システム(Java 方式)はご利用いただけますので、お早めに設定いただくようお願いいたします。

※新方式(脱 Java 方式)では Java を利用しませんが、利用しているすべての発注機関の切替えが終わるまで(令和 2 年 9 月予定)は、Java をアンインストールしないことを推奨しています。

※IC カードは現在使用しているものを引き続きご利用いただけます。再度利用者登録をする必要はありません。

## 新方式（脱 Java 方式）の設定方法

### 1. 動作保証環境の確認

ご利用のパソコンが下記要件（１）（２）を満たしているかご確認をお願いします。

#### （１）ハードウェア（現行システムからの変更はありません）

項目	要件
パソコン	Windows パソコン
CPU	Core Duo 1.6GHz 同等以上推奨
メモリ	32bit 版:1.0GB 以上を推奨 64bit 版:2.0GB 以上を推奨
ハードディスク	1ドライブの空き容量が、1GB 以上
ディスプレイ	1,024×768 ピクセル(XGA)以上の解像度
インターフェース	IC カードリーダを接続するための USB ポート 1 つ
IC カードリーダ	ご利用になる電子入札コアシステム対応認証局が指定しているもの

#### （２）ソフトウェア

項目	要件
OS(基本ソフト) (※1)	Windows8.1 エディションなし、Pro (32bit 版/64bit 版) Windows10 Home/Pro (32bit 版/64bit 版)  (※1)Windows7 では新方式(脱 Java 方式)をご利用いただけません。 Windows7 をご利用の場合は、上記 OS のパソコンをご準備ください。
ブラウザ	Internet Explorer 11  ※Internet Explorer は 32 bit 版をご利用ください。 ※Windows 8.1 はデスクトップ版の Internet Explorer のみサポート対象となります。 ※Windows 10 に搭載されている Microsoft Edge は使用することができません。 ※Internet Explorer 以外のブラウザ(Chrome、Firefox 等)には対応しておりません。
電子入札システム 関連ソフト	電子入札コアシステム対応認証局より提供されます。 新方式(脱 Java 方式)に対応した最新のソフトウェアが必要になります。
.NET Framework (※2)	.NET Framework 4.6.1 以上  ※Windows8 以降の OS では、購入時より「NET Framework 4.6.1」以上のバージョンがインストールされています。 ご自身でバージョンを確認したい場合は、本資料の「(補足).NET Framework のバージョン確認方法」をご参照ください。

(※2).NET Framework が入っていない場合は、マイクロソフト社のホームページを上、  
.NET Framework のインストールをしてください。

#### 【Windows8.1 をご利用の場合】

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/on-windows-8-1>

#### 【Windows10 をご利用の場合】

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/on-windows-10>

## 2. 認証局が提供している最新ソフトウェアのインストール（アプリケーションの更新作業）

新方式（脱 Java 方式）を利用するためには、IC カード用ソフトウェアの更新が必要となります。

更新方法は認証局ごとに異なりますので、ご利用の IC カードを購入した電子入札コアシステム対応の認証局に確認をお願いします。

※この作業は、他の発注機関で一度でも脱Java版を設定済みであれば、電子入札補助アプリを含む認証局の利用者ソフトウェアの再設定は不要です。

### 【電子入札コアシステム対応の民間認証局お問い合わせ一覧】

<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>

株式会社N T Tネオメイト/e-ProbatioPS2	<a href="https://www.e-probatio.com/support/faq/faq_21_213.html">https://www.e-probatio.com/support/faq/faq_21_213.html</a>
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社/DIACERT-PLUSサービス	<a href="https://www.diacert.jp/plus/support/switch.html">https://www.diacert.jp/plus/support/switch.html</a>
株式会社帝国データバンク/TDB電子認証サービスTypeA	<a href="http://www.tdb.co.jp/typeA/support/01_07.html#q32">http://www.tdb.co.jp/typeA/support/01_07.html#q32</a>
東北インフォメーション・システムズ株式会社/TOiNX電子入札対応認証サービス	<a href="https://www.toinx.net/ebs/news/index.html#20191226">https://www.toinx.net/ebs/news/index.html#20191226</a>
日本電子認証株式会社/AOSignサービス	<a href="https://www.ninsho.co.jp/aosign/news/20191226-1.html">https://www.ninsho.co.jp/aosign/news/20191226-1.html</a>
日本電子認証株式会社/法人認証カードサービス	<a href="https://www.ninsho.co.jp/hojin/news/20191226-1/20191226-1.html">https://www.ninsho.co.jp/hojin/news/20191226-1/20191226-1.html</a>

## 3. ブラウザの設定

新方式（脱 Java 方式）は、接続先の電子入札システム URL が変わります。URL の変更に伴い、Internet Explorer の信頼済みサイトに新しい URL を登録してください。

### 【信頼済みサイトの設定】

以下の手順にて、信頼済みサイトの登録を行ってください。

- (1) 「Internet Explorer」を起動し、ツールメニューから[インターネットオプション]①をクリックします。



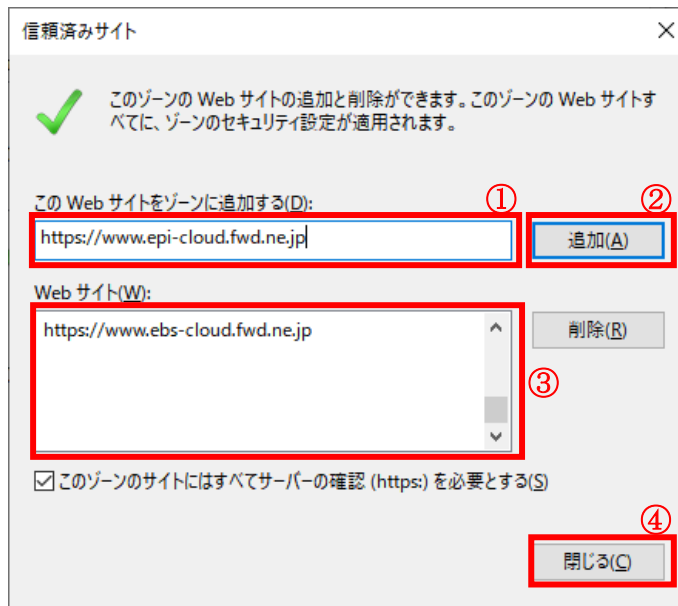
(2) [セキュリティ]タブ①の[信頼済みサイト]②を選択し、[サイト]ボタン③をクリックします。



(3) [この Web サイトをゾーンに追加する]の入力欄①に以下の URL を入力し[追加]ボタン②をクリックします。

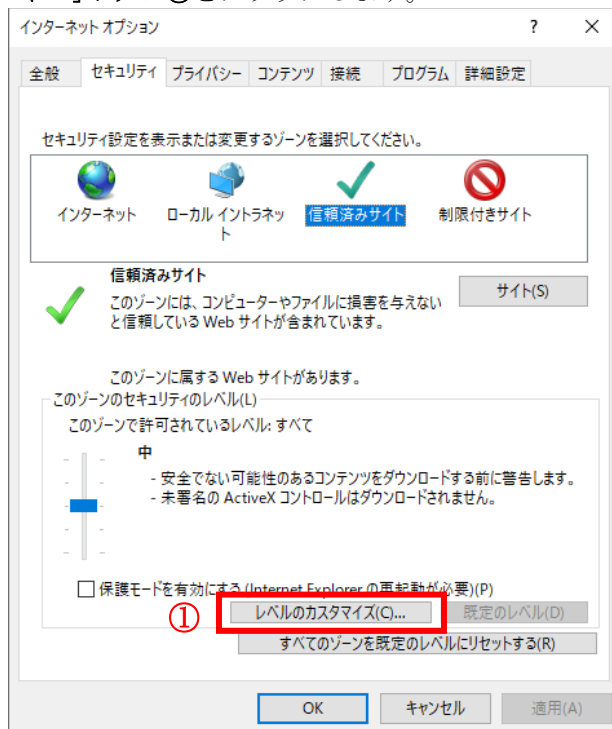
<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp> (電子入札のみ使用する場合はこちらのみ)  
<https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp>

[Web サイト]欄③に追加した URL が表示されたことを確認し、[閉じる]ボタン④をクリックします。

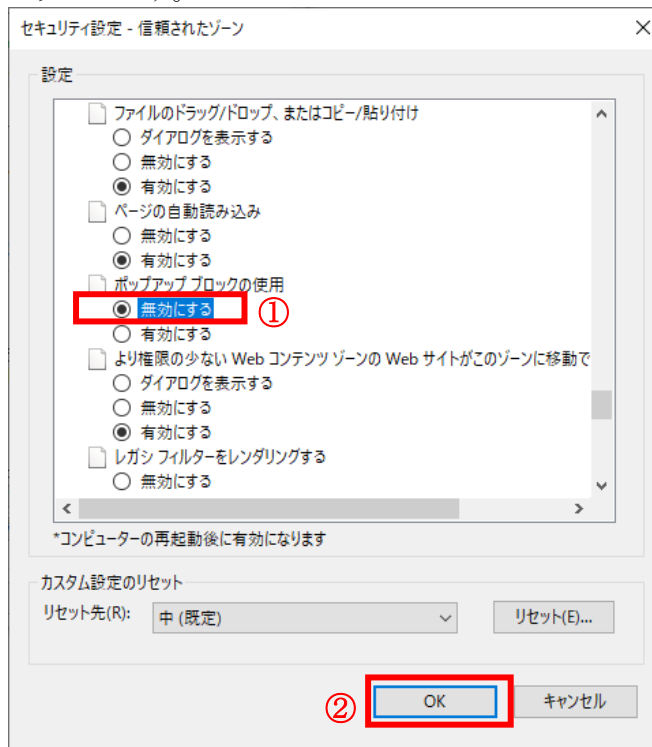


※以上で信頼済みサイトの登録は完了です。  
新しいパソコンにてご利用になる場合は、以降の設定も行ってください。

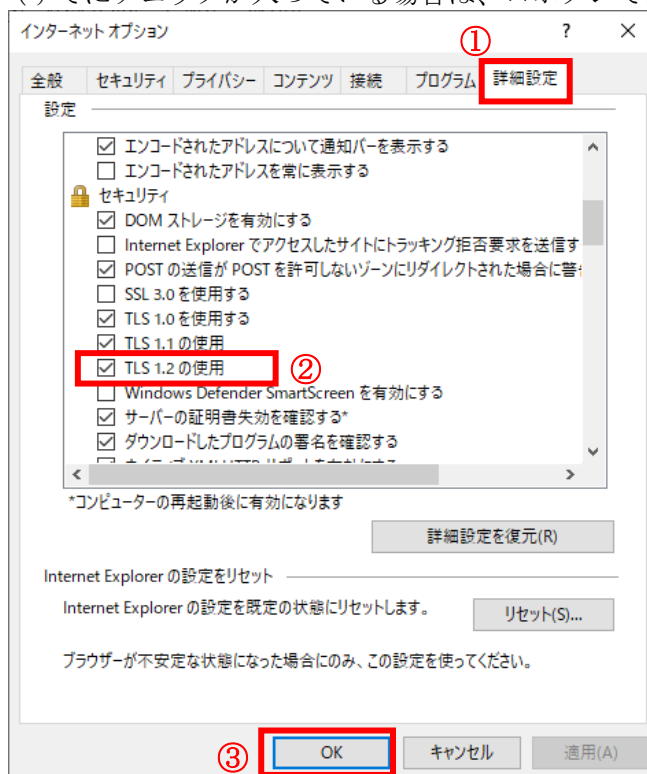
- (4) インターネットオプション画面にて「信頼済みサイト」を選択し、[レベルのカスタマイズ]ボタン①をクリックします。



- (5) [ポップアップブロックの使用]を[無効にする]①に変更し、[OK]ボタン②をクリックします。



- (6) インターネットオプション画面の[詳細設定]タブ①をクリックします。  
[セキュリティ]の[TLS 1.2の使用]②にチェックを入れます。  
[OK]ボタン③で画面を閉じてください。  
(すでにチェックが入っている場合は、×ボタンで閉じてください。)



設定は以上です。

## (補足) .NET Framework のバージョン確認方法

.NET Framework のバージョンは、ご利用の OS により確認方法が異なります。

### ① Windows 8.1 の場合

「コントロールパネル」－「プログラムのアンインストール」の一覧表示よりご確認ください。

### ② Windows 10 の場合

Windows 10 では画面上より確認することができず、レジストリエディタで確認をします。レジストリエディタは設定を変更すると不具合が発生する可能性もあるため、どうしてもバージョンの確認をしなければならない場合のみ行ってください。

(1) スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選択し、「regedit」と入力し、[OK] を選択します。(regedit を実行するには管理者権限が必要です。)

(2) レジストリ エディターで、次のサブキーを開きます。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full

※Full サブキーが存在しない場合は、.NET Framework 4.5 以降はインストールされていません。

(3) 名前「Release」、型「REG\_DWORD」のデータを確認します。括弧で記載された番号がバージョンと対応していますので、下記表より確認をしてください。

表に記載のキーが存在しない場合は、.NET Framework 4.5 以降はインストールされていません。

表. .NET Framework のバージョン対応表

値の内容	対応するバージョン	値の内容	対応するバージョン
378389	.NET Framework 4.5	394806	.NET Framework 4.6.2
378675	.NET Framework 4.5.1	460798	.NET Framework 4.7
378758	.NET Framework 4.5.1	460805	.NET Framework 4.7
379893	.NET Framework 4.5.2	461308	.NET Framework 4.7.1
393295	.NET Framework 4.6	461310	.NET Framework 4.7.1
393297	.NET Framework 4.6	461808	.NET Framework 4.7.2
394254	.NET Framework 4.6.1	461814	.NET Framework 4.7.2
394271	.NET Framework 4.6.1	528040	.NET Framework 4.8
394802	.NET Framework 4.6.2	528049	.NET Framework 4.8